

NO. 309

じゅんあい

平成24（2012）年12月1日

マリアの賛歌



「そこで、マリアは言った。『わたしの^{たましい}魂^{しゅ}は主をあがめ、
わたしの^{れい}霊^{すく}は救^{ぬし}い主である神を喜びたたえます。
身分の低い、この主のはしためにも 目を留めてくださったからです。
今から後、いつの世の人も わたしを^{さいわ}幸いな者と言うでしょう、

力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。
その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、
主を畏れる者に及びます。
主はその腕で力を振るい、
思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、
身分の低い者を高く上げ、飢えた人を良い物で満たし、
富める者を空腹のまま追い返されます。
その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、
わたしたちの先祖におっしゃったとおり、
アブラハムとその子孫に対してとこしえに。』 (ルカ 1:46~55)

マリアの賛歌は、彼女の神への信仰と献身の熱愛を強く感じさせられ
私達の心をとらえてやまない。

人はどのように生き、どのように祈り、どのような生涯であるべき
か・・・。

一おとめであったマリアを通して、大きな神よりの教えをうかがい知
ることが出来る。

「六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から
遣わされた。

ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わ
されたのである。そのおとめの名はマリアといった。

天使は、彼女のところに来て言った。

『おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。』マリアは
この言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。

すると、天使は言った。『マリア、恐れることはない。あなたは神か
ら恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子を
イエスと名付けなさい。』

その子は偉大な人になり、いと高き^{かた}方の子と言われる。
神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。
彼は永遠にヤコブの家を^{おさ}治め、その支配は終わることがない。』
マリアは天使に言った。『どうして、そのようなことがありえましょ
うか。わたしは男の人を知りませんのに。』

天使は答えた。『聖霊^{せいれい}があなたに^{くだ}降り、いと高き方の力があなたを^つ包
む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。
あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっ
ている。不妊の女^{ふにん}と言われていたのに、もう六か月になっている。
神にできないことは何一つない。』

マリアは言った。『わたしは主のはしためです。お言
葉^などおり、この身に成りますように。』そこで、天使
は去って行った。」

(ルカ 1:26~38)



神が人となって人類を救^{みわざ}う御業実現のために一マリアの協力^{いち}を切に求
められる神。それに対して物の見事にこたえゆくマリア。

あゝその魂^{ゆだ}を主に委ね、“成りますように”と献身出来ることのすばら
しさよ。かくして、おとめがおとめのままで、聖霊によって身ごもり、
神の御子^みをこの世に^い生み出だす世紀の大事業が成就^{じょうじゅ}した！！

ハレルヤ！！

このマリアに十字架上でキリストはヨハネを与え、ヨハネにはマリア
を与えた。

しか^{しか}然り、全キリスト教会にこのマリアの信仰と献身を主は与えられるの
である。ペンテコステの聖霊が注がれる大切な出来事実現の最中にも

マリアの存在を忘れることは出来ない。

“成りますように” ——

これはマリアだけではなく、すべての人の生涯のスローガン・献身・信仰告白とすべき御言葉といえよう。

『わたしの魂は主をあがめ、
わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。
身分の低い、この主のはしためにも 目を留めてくださったからです。
今から後、いつの世の人も わたしを幸いな者と言うでしょう、
力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。
その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、
主を畏れる者に及びます。』 (ルカ 1 : 47~50)

マリアの如く^{ごと}心を注ぎ、マリアの如く一切を主に委ね、マリアの如く^{あが}御名を崇め主をたたえる——— 一僕^{いち}でありたい。



殉愛キリスト教会

牧師：山 縣 實

〒920-0814 石川県金沢市鳴和町タ 210 Tel・Fax 076-251-2247

E-mail : jun-i-yamagata@ishikawa.email.ne.jp

URL : <http://www.ne.jp/asahi/jun-ai/christ-church/>